

## 情報館 ①

ロボットスーツ HAL® 着用訓練助成

### ロボットスーツ HAL® 着用訓練 助成の対象を拡大します

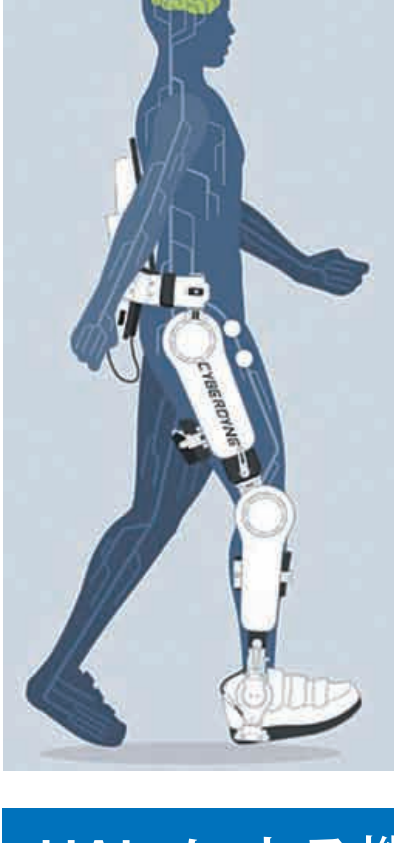
障がい福祉課 ☎ 382-7626 📠 382-7607

✉ shogaifukushi@city.suzuka.lg.jp

4月1日から、鈴鹿ロボケアセンターで行うロボットスーツ HAL® 着用訓練助成の対象に移動機能障害が追加されました。最先端テクノロジーを用いた身体障がい者向けのトレーニングができますので、ぜひご活用ください。

### ロボットスーツ HAL® とは

脳卒中や脊髄損傷などが原因で、立ち座りや歩行動作に不自由を感じる方の体に装着し、意思に



沿った運動を繰り返すことで、身体機能の維持・向上を促すロボットです。HAL®が脳の信号を読み取り、動作を補助することで、身体機能の向上につながります。

### HAL®による機能向上の流れ

①障がい者の方が、身体を動かそうとする

身体を動かそうとすると、動作意思を反映した信号が脳から筋肉へ伝達されます。

②HAL®が信号を読み取り、意思どおり動く

脳から筋肉への生体電位信号（微弱な信号）を読み取り、装着者がどう動きたいかを認識し、各関節のパワーユニットが意思に従った動作を実現します。

③身体機能の維持・向上を促進する

HAL®を使った生体電位信号に基づく運動を繰り返す行うことで、身体機能の維持・向上や自立度を高めます。

### 助成を受けるには

下肢・体幹に障がいをお持ちの方は、トレーニングを受けることができます。市では着用訓練費の助成を行っていますので、申し込みください。

**対象** 市内在住で、下肢、体幹または移動機能障害 1～3 級の身体障害者手帳をお持ちの方

**条件** 身長 100cm から 190cm まで 体重 15kg から 80kg まで

**助成内容** ロボットスーツ HAL® 着用訓練 10 回分

**申込み** 身体障害者手帳と印鑑を持って、障がい福祉課へ

※初回カウンセリング（有料 2,000 円）の結果によって、トレーニングの可否が決定します。

※トレーニングの場所は、鈴鹿ロボケアセンター株式会社（鈴鹿市南玉垣町 3500 番地 3 鈴鹿医療科学大学白子キャンパス内）です。

